

Press Release

日本のZ世代、「海外勤務に関心なし」62%と内向き志向強く 会社選びでは「良い上司」がいることを最も重視

- アデコグループのアジア9つの国と地域で、Z世代を対象に就職に関する意識調査を実施 -

- 「海外で働きたい」と回答した日本人はわずか12%で、調査国の中で最も低い数値。
- 日本人は、仕事で多くの経験を積むことよりも給与レベルを重視する傾向にあり、転職にも積極的。
- 就職先で重視している項目で日本人は「上司」「企業文化」「職場環境」を上位にあげる一方で、新興国では「短期間でスキルが習得できること」を重視する傾向にある。
- 「自分の親世代よりも良い生活を送れる」と予想している日本人は30%で最少。最多はタイで72%。

[2014年5月21日 東京]

世界最大^{*1}の人財サービス企業であるアデコグループは、その日本法人で総合人事・人財サービスを展開するアデコ株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：奥村真介、以下「アデコ」）と、アジア（中国・香港・台湾・韓国・シンガポール・マレーシア・タイ・ベトナム）の計9つの国と地域において、Z世代（ジェネレーションZ）と称される15～18歳を対象^{*2}に、「教育と就職活動」、「働き方や仕事に対する価値観」に関する意識調査を実施しました。

今回、意識調査の第2弾として「働き方や仕事に対する価値観」について、アンケート結果をまとめました。

(*1) Staffing Industry Analysts 2013、人財サービス企業売上ランキングより。

(*2) アデコグループにおいては、15～18歳をZ世代と定義しています。

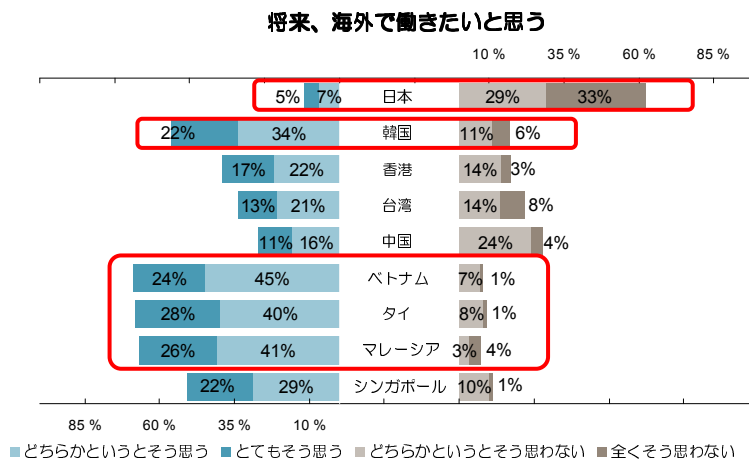
【アンケート結果の概要】

1) 仕事に対する姿勢、価値観

1-1 海外勤務への志向：

日本ではわずか12%、新興国では65%以上が「海外で働きたい」

将来、海外で働きたいかという問いに対し、日本のZ世代は「とてもそう思う」「そう思う」を合わせても、わずか12%にとどまり、他の調査対象国よりも保守的な傾向があることが分かりました。ベトナム69%、タイとマレーシアが68%と、新興国は総じて海外で働くことへの関心が強くなっています。また、韓国のZ世代も海外で働きたい志向が強いことが分かりました。



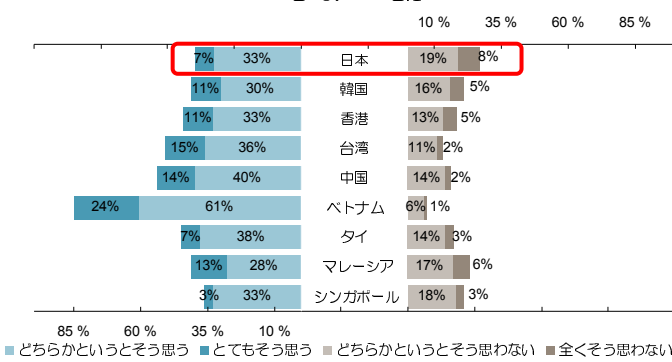
1-2 給与と経験に関する考え方：

働く上で経験より給与を重視する日本人は27%で、対象国の中で最多

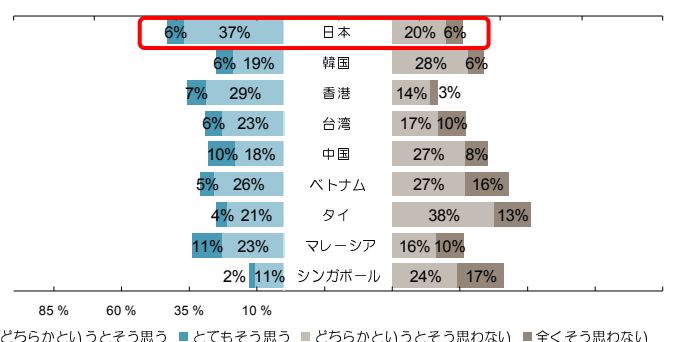
例えば給与があまり良くなくても良い経験が積める会社で働きたいかを聞いたところ、「そう思う」と回答した日本人は40%ですが、「そう思わない」と否定した割合は27%と調査国の中では最多でした。

また、特定の企業へ忠誠を尽くすより、良い仕事があれば転職したいかを聞いたところ、日本人の43%が「より良い条件の仕事があれば転職する」と回答し、他のアジア各国と比較し、強い忠誠心のもと、一社で働き続けたいという志向が弱く、条件で仕事を選択する傾向があることが分かりました。

給与レベルがよくなくても、より良い研修や様々な経験ができる会社で働きたい



特定の企業への忠誠心よりも、良い仕事があればいつでも転職したい

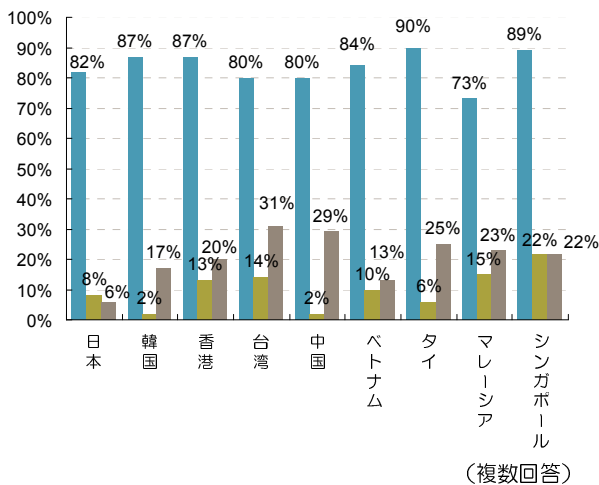


1-3 働き方、仕事のスタイル：

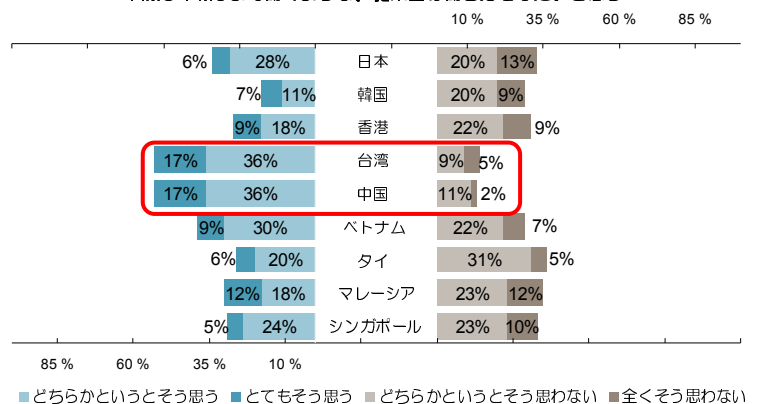
各国とも雇用形態は「正社員」を選択、中華圏では、従来型の働き方を好む傾向

希望する雇用形態では、ほとんどのZ世代が正社員（無期雇用）を希望しており、アジア圏においては正社員が通常の働き方として定着していることが分かりました。また、AM9：00～PM5：00 働くような従来型の働き方を希望するかを聞いたところ、中華圏では支持が多く、一方日本は比較的柔軟性の高い働き方を好む傾向がありました。近年のフレックスや時短勤務の活用といった働き方の多様化が、日本のZ世代の意識を形成している可能性があります。

■ 正社員 ■ 正社員以外（契約、派遣、パート、アルバイトなど） ■ 自営業 / フリーランス



AM9-PM5まで働くような、従来型の働き方をしたいと思う



2) 就職先の志向：

2-1 就職先の企業規模

日本は「国内大企業」が1位。他国では「行政機関」と「外資系大手」で人気二分される

日本では、「国内大企業」が最も人気がありました。各国とも「中小／ベンチャー企業」への人気が低く、「大企業」を好む、安定志向であることが分かりました。ベトナムにおいては、60%が「外資系の大企業」を選択しているのが特徴的ですが、台湾、中国などでは大多数の人が「特に希望はない」を選択し、企業規模にそれほどこだわりをもっていないことが分かる結果になっています。

学校卒業後、働きたい企業

国内の大企業	31%	25%	25%	14%	13%	17%	16%	13%	20%
外資系の大企業	2%	9%	13%	11%	22%	60%	19%	33%	22%
中小企業／ベンチャー企業（起業含む）	21%	10%	5%	16%	11%	8%	14%	9%	14%
行政機関（公務員など）	17%	31%	20%	9%	12%	14%	30%	35%	21%
特に希望はない	29%	25%	37%	50%	42%	1%	21%	10%	23%

2-2 就職先で重視すること

日本は「良い上司」が第1位。他国では「短期間でスキルを習得できる」を重視

就職する際に重視する会社の特徴 ※数字は、重視する順位（複数回答）

良い上司がいる	1	6	1	5	5	7	4	7	7
企業文化が良い	2	1	7	7	6	5	10	5	5
職場環境（デザイン、通勤、IT環境など）が良い	3	4	5	3	7	5	6	3	5
仕事に関連する研修の機会があり、資格取得ができる	4	9	2	4	2	4	8	7	8
ワークライフバランス（残業が少ない）	5	7	6	9	10	10	7	4	1
企業イメージが良い	6	9	9	5	3	8	2	7	9
短期間でスキルが身に付けられる	7	4	3	2	1	2	1	1	3
様々な種類の仕事ができる	8	2	10	8	8	3	5	2	2
会社の知名度（大企業、評判が良い）	8	8	10	11	11	9	8	11	11
会社が業界リーダーであること	10	3	4	1	3	1	2	6	3
転勤・出張が多く、様々な場所で働ける	11	11	8	9	9	10	11	10	9

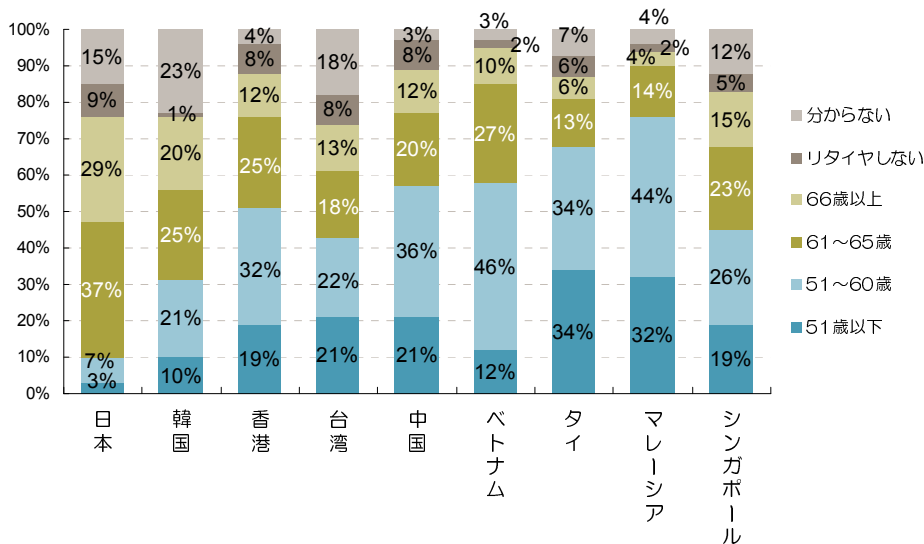
3) 将来について：

3-1 リタイヤする年齢

日本人は「60歳以上」と最も長く働くことを予想。他国は60歳までにリタイヤすると考えている

日本では、66%がリタイヤする年齢は60歳以上と予想。近年の年金受給状況や労働力人口の減少など、現実的なニュースを見聞きしており、自分達は長く働かなくてはならないと感じているようです。マレーシアやタイでは、50代またはそれよりも前にリタイヤしていると、早期の引退を予想しています。

リタイヤすると考えている年齢

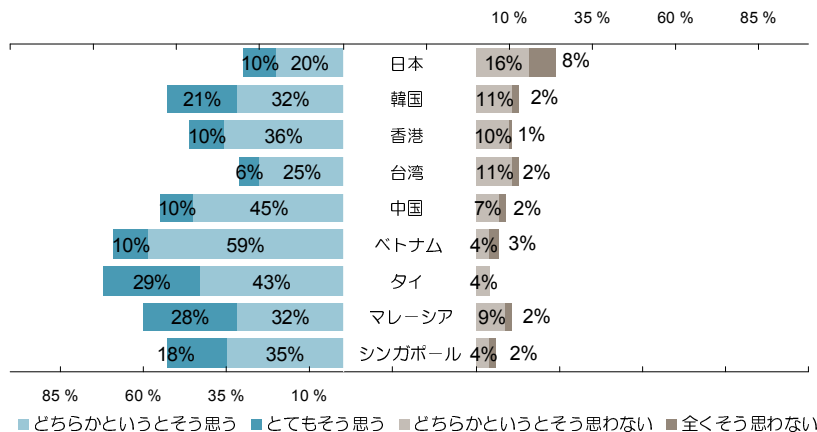


3-2 将来の生活

親世代よりも良い生活を送れると思っている日本人は30%と最少で、将来に悲観的。

新興国であるタイで、72%が親世代よりも豊かな生活を送れると予想していることを筆頭にシンガポールや韓国といった、先進国市場においても同様の回答が多くみられました。全体の傾向とは異なり、日本人は30%が「そう思う」と回答したにとどまり、将来へ悲観的な傾向が表れた結果になりました。

自分の親世代よりも豊かな生活を送れると思う



以上

【アンケート実施概要】

- 対象国 日本、中国、香港、台湾、韓国、シンガポール、マレーシア、タイ、ベトナム
- 調査対象 1995年～1998年に誕生した、15歳～18歳の男女
- サンプル数 各国 100人
- 実施方法 インターネット調査
- 実施時期 2014年1月1日～31日

■ アデコ株式会社について

アデコ株式会社は、60を超える国と地域で事業展開する総合人財サービスのグローバルリーダー、Adecco Groupの日本法人です。コンサルティングを通じて、多様な人財を活かし、多岐にわたる業務の最適化を可能にするソリューション（人財派遣、人財紹介、アウトソーシングなど）を提供しています。働く皆様と企業の“better work, better life”の実現を目指し更なるサービスの強化に取り組んでいます。人と仕事が自由にめぐり会い、「求める明日」へと躍進できるようサポートすることが、私たちAdeccoの使命です。アデコ株式会社に関するより詳しい情報は、当社ホームページ www.adecco.co.jp をご覧ください。

【この件に関するお問い合わせ先】

アデコ株式会社 コミュニケーション室
Tel: 03-6439-7473